

なぜ、英語が苦手なのか？

～「英語負け組み」から「勝ち組」になるキッカケ～

）著作権は放棄しませんが、転送はご自由に。
友人、知り合いに、ドンドン、転送してください。

1 - 1 不思議な生徒！？に出会う

家庭教師をしていたときに、ある「不思議な」生徒と出会いました。何が不思議だったのかというと、「 $2X=4$ 」は解けるのに、同じ解き方の「 $3X=1$ 」は解けなかったのです。

なぜ、「 $2X=4$ 」が解けるのに、「 $3X=1$ 」は解けなかったのか？原因を探っていったところ、1つの事実がわかりました。

この生徒は、小学生で学習する「分数」が理解できていなかったのです。

なので、分数がでてこない「 $2X=4$ 」は理解できたものの、分数がでてくる「 $3X=1$ 」は、どうしても理解できなかったのです。

） $2X=4$ $X=4 \div 2 = 2$ （分数はでてきません）

） $3X=1$ $X=1 \div 3 = 1/3$ （分数がでてきます）

そこで、徹底的に分数を教えてみたところ、案の定、「 $3X=1$ 」も解けるようになりました。

1 - 2 「勉強ができる人＝才能がある人」なの？

積木を高く積み上げるには、しっかり「基礎」を作らないといけません。

逆をいえば、「積むべき積木」を積み残して、「基礎」を作るのをおろそかにしていると、積木を、高く積むことはできません。

勉強は「積木」と似ています。

しっかり「基礎」を固めないと、どれだけ勉強しても、真に理解できず、成績は伸びないのです。

つまり、小学生のときに、中学生のときに習得すべきものを習得していないと、高校生のとき、大学生のとき、社会人にときに困るのです。

つまり、よく「自分は才能ないから成績が伸びない」「自分は頭悪いから勉強は苦手」などと言う人を見かけますが、実は、そうではなくて、単に、小学生のとき、中学生のとき、高校生のときに習得すべきものを習得していないだけです。

逆をいえば、小学生のとき、中学生のとき、高校生のときに習得すべきものを習得すれば、成績は伸びますし、「勉強が得意」に感じるようになるのです。

・・・この話を色々な人にするのですが、なかなか信じてもらえません。そこで、もう1つエピソードを紹介します。

私は、塾講師時代、Bコースの生徒を教えていたのですが、半年くらいで、平均点で、Aクラスの成績を抜いてしまったことがあります。

）そもそも、数学が得意かどうかでクラス分けしているので（成績がいい順にA、B、Cにクラス分けしていました）普通は、このようなことはありません。

なぜ、このようなことが起きたのだと思いますか？

難しい応用的なことを徹底的に教えたのだと思いますか？

それとも、ヤマをはって、出題内容を当てたのだと思いますか？

いずれも違います。

徹底的に基礎を、というより、基礎しか教えなかったためです。
難しい応用的なことをしないと、Aコースに勝てないイメージがあるかもしれませんが、実はそうではなくて、徹底的に基礎を固めると、応用もできるようになって、Aコースに勝てたのです。
この話は、**基礎が固まれば成績が伸びること**、勉強は才能ではないということのいい例ではないでしょうか。

1 - 3 英語が苦手な人が積み残しているものは？

本題です。

実は、この話、英語も同じです。
学校で、散々、英語を学習してきたのに、未だに「英語が苦手」「英語負け組み」なのは、単に「基礎」ができていないだけなのです。
つまり、いつまで経っても、英語が苦手なのは、あなたの才能ではなく、**基礎が固まっていないだけ**なのです。

では、英語の「基礎」とは何なのか？

「中学英語」を想像する人がいるかもしれませんが、いくら、中学英語を学習しても、効率的に英語を身につけることはできません。

それは、なぜか？

中学英語では、結果的に、「理解」という側面は無視されていて、「丸暗記」が推奨されているためです。

）もっというなら、理解は高校英語に任せて、中学英語では丸暗記させて知識つけさせるという方針なのでしょうね。だからこそ、中学英語（高校受験）では、とりあえず、丸暗記していれば、英語の成績は上がります。なので、中学時代に「自分は英語が得意」と思っていたても、高校に入ったら、急に英語ができなくなる人が多いのでしょうね。

理解できずに、丸暗記に頼っていると、効率的に英語は理解できないですね。

）ちなみに、理解がどれだけ大切か、例をあげてみます。
たとえば「09101974、11031972、03062006」を覚えてほしいといっても覚えられないですね。
しかし、「数字は、月・日・年の順になっていて、人の誕生日だ。たとえば、09月10日1974年で、ヒデの誕生日だ」という感じで、どのような数字なのか「理解」すれば、簡単に覚えられると思います。
もっというなら、丸暗記だと、「09101974、11031972、03062006」の3個ですら覚えられないですが、どのような数字なのか理解すれば、10個とかでも覚えられるのではないのでしょうか。
このように暗記よりも理解することが重要なのですが、中学英語では暗記しかできないようになっています。

・・・積み残している「積木」が、中学英語ではないとすれば、英語が苦手な人が積み残しているものは何なのでしょう？

ズバリ、「日本語（国語）」です。

日本語（国語）という「基礎」ができていないので、英語という

「より高度なもの」が理解できないのです。

たとえば、「チキンが欲しい」を、「Chicken (チキン) want (欲しい)」と言ってしまうませんか？

たとえば、「野球をする」を、「Baseball (野球) play (する)」と言ってしまうませんか？

たとえば、「あそこで走っている少年」を、「there (あそこで) running (走っている) the boy (少年)」と言ってしまうませんか？

もし、このように言ってしまうのであれば、「日本語と英語の違い」が理解できていない証拠です。つまり、基礎ができていないのです。

この「日本語と英語の違い」は、一番、基礎となる部分で、最も重要なのです。

）面白いことに、かつて中学英語で成績が良かった人も（今では英語が苦手な人）平気で、「Chicken want.」などのように言います。これは、中学英語が「丸暗記」に頼っているいい証拠ではないでしょうか。

実際、英語が苦手だったのですが、「日本語と英語の違い（文型など）」が理解できるようになったら、いつの間にか、英語が得意になっていた・・・という人は多いです。

）実は、私自身が、その中の 1 人です。

2 - 1 「英語負け組み」から「勝ち組」になるキッカケ

では、どうすれば、効率的に、英語負け組みから脱却できるのでしょうか。

「日本語と英語の違い」を意識しながら、英語を学習することをお勧めします。「日本語では、こういう語順だけど、英語ではこういう語順になる。」などのような理解ができると、一気に英語が得意になります。

具体的には、以下の3ステップがお勧めです。

ステップ 1

- 1 . 「主語」「動詞」「目的語」「補語」とは何か、完全に理解する
- 2 . 日本語と英語の語順の違いを知る

ステップ 2

- 3 . 更に応用的な「形容詞」とは何か、完全に理解する
- 4 . 日本語と英語の語順の違いを知る

ステップ 3

- 5 . 更に応用的な「前置詞」「副詞」とは何か、完全に理解する
- 6 . 日本語と英語の語順の違いを知る

）これができるようになれば、「句」と「節」の違いを理解するなどの応用的なことをすればいいでしょう。

というわけで、まずは、以下のようなことができるようになることが重要です。

< 例 > 日本語で教えてください。

「昨日見かけた少年が犯人だ」という文の主語、補語、動詞、目的語はどれですか？

このような基礎を固めることができれば、効率的に英語が得意になります。

2 - 2 お勧めの英文法の参考書

ほとんどの参考書では、この「日本語と英語の違い」は扱われていません。

しかし、1つだけ詳しく解説している参考書があります。

それが、「基本にカエル英語の本～英文法入門編（スリーエーネットワーク）」シリーズなのです。

「基本にカエル英語の本～英文法入門編」シリーズは、「基礎」となる「日本語と英語の違い」を徹底的に解説しているだけでなく、以下の特徴があります。

1 . 「わかりやすさ」では「日本一」を自負しています。

英語の「基礎」を学習できても、わかりにくければ意味がありません。

「基本にカエル英語の本」シリーズは、英語が苦手な人から直接、意見を集めて、「どのように解説すればわかりやすいのか」を追求

して作成しています。

つまり、以下のように改善を重ねた結果、できあがったのです。

- ・教え方 A で、教える
- ・「わからない」というクレームがくる
- ・教え方 A を改良して、教え方 A A で教える
- ・「わからない」というクレームがくる
- ・教え方 A A を改良して～

余談ですが、残念ながら、「わかりやすい」という言葉を看板に掲げていても、その根拠がない、もしくは根拠にかける「いい加減な参考書」は多いです。

しかし、「基本にカエル英語の本」シリーズは、実際に、ホームページやメルマガから、英語が苦手な人たちから意見を集めて改善して、出来上がった「教え方」を掲載しています。

つまり、英語が苦手な人が、どこが理解しにくいのか、徹底的に追及した結果、作り上げた「教え方」なのです。

しかも、ホームページだと、トップページだけで 80 万アクセス数（1 日 3000 アクセス数）、メルマガだと 1 万部の読者から意見を募って、改善しています。

一般的な教師だと、1 年に多くても 200 人くらいしか生徒を受け持ちません。30 年教えても、わずか 6 千人です。

これに比べると、圧倒的な数の人からの意見を募っているわけです。

しかも、先生に、どこがわからないのか、詳しく質問してくる生徒は、ごく少数ですが、インターネットでは「質問するのは恥ずかしい」などの抵抗なく、気軽に質問できるので、より意見を聞

きやすい状況でもあります。

「基本にカエル英語の本」シリーズが、他の参考書とは、全く違う教え方になっているのは、他の参考書とは違って、「英語が苦手な人」と一緒に作り上げていったためです。

2．他の参考書の「欠点」をなくしています。

「参考書を買って、はじめの数ページを読んで後は本棚に・・・」という経験をしたことはないでしょうか。

その人自身に問題があるかもしれませんが、それ以上に、やる気をなくす参考書の方が大きな問題です。

「基本にカエル英語の本」シリーズでは、やる気を失わないための「工夫」が入っています。

実際、「はじめて最後まで読めた」という感想も多いです。

3．丸暗記をさせません。

語学である限り、暗記から逃れることはできません。

しかし、丸暗記に頼ると、いつまで経っても上達しません。

そこで、「基本にカエル英語の本」シリーズでは、「理解すべきこと」「覚えるべきこと」を切り離しています。

前半でも書きましたが、「理解」できれば、ドンドン覚えられるようになります。

4．キャラクターと一緒に「楽しく」勉強できます。

運動も勉強も苦手ですが、食べること、歌うことが大好きな「ケロ

蔵」、カエル王国に留学している謎の「コー太」など、いろいろなキャラクターと楽しく学習できます。

どちらかというと「イラスト本」のような感じで、沢山のイラストで楽しく学習できます。

５．その他、色々な工夫があります。

ここでは紹介しきれないくらい、他にも色々な工夫があります。全国の書店で発売されていますので、実際に、書籍を手にとって、みてください。

基本にカエル英語の本～英文法入門編レベル 1

<http://ekaeru.com/book1.html>

基本にカエル英語の本～英文法入門編レベル 2

<http://ekaeru.com/book2.html>

基本にカエル英語の本～英文法入門編レベル 3

<http://ekaeru.com/book3.html>

）出版社：スリーエーネットワーク、著者：石崎秀穂



2 - 1 基礎の固め方

参考書を読んで「基礎」が「理解」できたとします。
そして、覚えるべきことを「覚えた」したとします。

これで終わりでしょうか？

いえいえ、まだ「すべきこと」があります。

基礎は徹底的に固める必要があります。

つまり、参考書にある「例文（日本語）」を見た瞬間、英語が口に出るようにならなければなりません。

たとえば、「あそこで走っている少年は太郎だよ」という日本語を見た瞬間、「The boy running there is Taro.」という英語がでてくるまでになる必要があります。

）逆に英語を見た瞬間、日本語がでてくるまでになる必要もあります。

このようになるために、具体的に、何をすればいいのでしょうか。

方法は簡単です。

ひたすら、参考書にでてくる例文の「日本語」を見て、「英語」に直す練習、逆に「英語」を見て、「日本語」に直す練習を繰り返すだけです。

）このとき、音声を聞きながらするといいでしょう。また「声を出して」練習するといいでしょう。

これを繰り返していくうちに、日本語を見た瞬間、英語がでてくる

ようになります。

これで、ガッチリ、基礎が固まります。

ちなみに、この最後の「詰め」が甘ければ、基礎は固まったうちには入らないので、注意してください。

2 - 2 基礎が固まった後は・・・

基礎が固まった後は、他の参考書でも十分学習できます。

書店に行って、自分にあう参考書と問題集を買ってみてください。

ただ、市販の参考書では、「英文法」は強くなっても、リスニングや、スピーキングは上達しないことがあります。

そこで、ネットで販売されている色々な英会話教材を利用することをお勧めします。

<http://ekaeru.com/english.html>

【スピーキング】 「ユーキャン」の「ピンズラー英語」がお勧めです。資料請求で無料サンプルが貰えます。

<http://www5e.biglobe.ne.jp/~eibunpou/rec10.htm>

【リスニング】有名な「スピードラーニング」で聞くだけで「英語耳」に！

<http://www5e.biglobe.ne.jp/~eibunpou/ss8.htm>

【語学力】 「アルク」の英語教材はお勧めです！

<http://www5e.biglobe.ne.jp/~eibunpou/rec9.htm>

【英会話学校】 イーオンがお勧めです。

<http://www5e.biglobe.ne.jp/~eibunpou/ss16.htm>

【資格取得】資格取得を目指すなら「ユーキャン」「がくぶん」がお勧めです。

(ユーキャン) <http://www5e.biglobe.ne.jp/~eibunpou/rec10.htm>

(がくぶん) <http://www5e.biglobe.ne.jp/~eibunpou/gaku0.html>

文責：英語・英会話教材のHMB

<http://ekaeru.com/>

英文法を無料で学習できるサイトも運営しています。

<http://www5e.biglobe.ne.jp/>

英語が苦手な人のための無料メールマガジンも発行しています！

<http://www.mag2.com/m/0000110598.html>